



NEWS RELEASE

セカンドハーベスト・ジャパンの能登への支援 要請を受け、食品寄贈に協力しました

生団連は令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨の発災以降、被災地支援を継続しているセカンドハーベスト・ジャパン（以下2HJ）の要請を受け、生団連の新・災害支援スキームを活用し、食品寄贈に協力しました。これらの食品は、2025年1月より順次、各企業から2HJ中能登拠点などに納品されており、同スキームに基づく大規模支援が実現した最初の事例です。

新・災害支援スキームは、700を超える企業・消費者団体・NPOなどの連合体として組織内の協力体制を整備し、実効力ある災害支援を実現することを目的としています。今回、被災地への継続的な支援として「食料応援パッケージ*」プロジェクトを実施する2HJからの支援要請を受けて、同スキームに基づく大規模な寄贈が実現しました。これまで、ゼンショーホールディングス、東洋水産、南海グリル、ニチレイフーズ、ニッスイ、日本ハム、はくばく、明治ホールディングス（五十音順）の計8社の会員企業から、20,000食以上の食品が寄贈されました。



生団連は今後とも、会員NPOおよび企業・団体と連携し、被災地で支援を必要とする方々の支えとなるため、引き続き被災地支援活動に尽力してまいります。

*「食料応援パッケージ」は、被災により自宅が損壊し、建設型仮設住宅や民間賃貸借上げ住宅に入居している、または在宅避難生活をしている方々の中で、今後の生活に経済的な不安を抱える方や生活に困窮されている1,500世帯を対象に実施されているものです。2HJのロゴ付きダンボールに入れて、10kg前後のものを無料で、1世帯につき、1回ひと箱を3回にわたりお届けしており、これまで2回目までの発送を終え、現在3回目の配送を行っています。